

# 学研北生駒駅周辺まちづくり会議 ニュース 第2号

【発行主体】

生駒市都市計画課

TEL 0743-74-1111(内線 565)

5月21日(水)の19時より、北コミュニティセンターにて第2回学研北生駒駅周辺まちづくり会議を開催しました。

第2回では、自治会代表、個人地権者、法人地権者、事業者がグループに分かれ、「今後、この場所でどんな暮らしをしたいか(サービスを提供したいか)」といった視点から意見を出し合い、北生駒駅周辺のまちづくりのあり方について話し合いました。



## 〈会議の概要〉

1. 開会
2. 各班に分かれてのグループ討議
  - ・自治会関係者+個人地権者グループ(2グループ)
  - ・事業者+法人地権者グループ(1グループ)
3. 各班の発表
4. 閉会



## ●松村先生(愛媛大学大学院教授※)のコメント(要旨)

今回も座長として松村先生(愛媛大学大学院教授)におこしいただき、始めと終わりのコメントをいただきました。ポイントは以下のとおりです。

- ➡ なるべく1人称(“私”)の立場で物事を考えてもらいたい。
- ➡ 愛媛に行き暮らしが変わった。改めて思うのは“ちょっとした工夫や仕掛けで暮らしは変わる”ということ。
- ➡ そのための機能を少し空間づくりのなかに反映させるだけで、豊かな暮らしにぐっと近づくと感じる。
- ➡ 本日、いただいた意見を“大切な言葉”としてまちづくり構想の中に盛り込んでいきたい。



※松村先生は4月1日付で大阪大学から愛媛大学へ異動されました。

## ●グループワーク

本日は、3グループに分かれて意見交換を行いました。

### ◆自治会関係者+個人地権者グループ

- ・この地域でどんな暮らし方、過ごし方がしたいですか？
- ・そのためにどんなまちが良いですか？

### ◆事業者+法人地権者グループ

- ・この地域のどのような人々にどのような暮らしを提供したいですか？
- ・そのためにどのように事業を展開しどのような地域貢献ができますか？

各グループワークの概要は次ページ以降のとおりです。

## 自治会関係者＋個人地権者グループ①

### まちの特徴

●高齢者も元気な街

- 周囲に自然が残っている
- 自然が多く空気がきれい
- 緑が多い
- 蛸が舞う町、帰宅（帰路）が楽しめる

●高山、学研都市の玄関口

●駅前が味気ない（通過点）

●車が増えて工事が長引き市道を抜け道に使われて困っている

●畑を耕せる  
●ブラスバンド

### まちへの思い

- ・一人暮らしの高齢者が住みやすいまち
- ・老人の住みやすい町

- ・親子でのんびりと過ごせる町
- ・商業施設周りで年配の方、子どもたちが集える

- ・休日にウォーキングしたい
- ・緑地の多い空間

- ・北生駒駅前で食事をしたりコーヒーを飲んだり本を読んだりゆっくりしたい

- ・駅（電車）を利用した際に買い物をして帰りたい
- ・各商業施設がバラバラでなくつながってほしい
- ・駐車場が利用しやすいと駅利用者が勝手に利用するのでは？

- ・目的は町づくり
- ・商業施設以外の計画は？

- ・北地区の地域格差のない開発計画
- ・渋滞がひどくならないように

- ・演奏の場、コンサートなど
- ・各店舗の努力だけではなく他にない魅力で人を集める  
・・・どう活かす？

### まちづくりのアイデア

◎高山地区からのアクセス改善

- ・マイカー
  - ・バス
  - ・その他？ コミバス
- ◎買い物の交通の便を良くする

◎公園的な環境

- ・公園的な設備が必要
- ・商業施設周辺に緑、花の豊かな広場がほしい（安全性にも配慮）

◎緑の多い歩ける環境

- ・北生駒周辺の地域資源を活用した歩道
- ・案内サインも必要
- ・事業者が緑地を多くするように要望していく

◎人が集まるいこいの場

- ・駅の下または近くに喫茶店、食堂、書店をそろえる
- ・病院や薬局も必要

◎安全で利用しやすい店舗

- ・駅からの徒歩アクセスが安全にできる
- ・道路を安全にわたれる
- ・各商業施設で買い物を高齢者のために配達（連携）
- ・店の間を行き来できる

◎事業者の地域貢献

- ・商業施設の防災に関する取り組み、災害時の役割

◎道路アクセス計画と開発の同時進行

- ・市街化区域に入れて税金が上がっても開発は進まない
- ・域内の道路の迅速な整備
- ・生活道路の安全対策
- ・中学校に行くための歩道橋（安全にわたれるよう）

## 自治会関係者＋個人地権者グループ②

### 交通問題への対応

◎交通計画無しの開発計画ではダメ



◎商業施設の立地云々の前に元々の交通渋滞を解消すべき

(※むしろ商業施設の駐車場は空いている)

◎通過交通の排除

- ・イオンから来る車は県道へ誘導すべき
- ・既存集落に迷惑をかけないようにする

◎駅前広場の縮小

- ・現計画のような広い広場は必要ない
- ・高山第2工区の開発も期待できないのだから縮小すべき

### 駅周辺だけじゃなくもっと広く捉える

◎駅周辺にこだわる必要はない

- ・それほど駅を重要視しなくても良い。(住宅地内の最寄駅という位置づけである)
- ・(高山町)芝全体を区画整理事業するといったくらいの発想が必要ではないか？

◎ブランド力を活かす

- ・周辺エリアは教育環境が良いので住宅地としてのブランド力が高い。それを活かすような取組みが必要ではないか。

### 大きな公園を！

◎公園(的な空間)の併設

- ・買い物の途中に子どもが遊べる公園があれば便利
- ※公園そのものは近くにあるので公園的な空間でも良い

### 地元の人が住み替えできる

◎若者だけじゃなく…

- ・若者だけでなく今住んでいる人も大事。
- ・高齢になっても駅前に住み替えできるといったまちが良い。

### 沿道のまちなみ

◎看板(サイン)の統一

- ・看板が美しくないのはダメ。地域全体で一定のルールがあれば良い。
- ・国道24号沿道のようにはなってほしくない。

◎介護施設等の充実

- ・高齢になると必要不可欠な介護施設等の機能が充実していることも重要である。

◎空き家の活用

- ・住宅地内に増えてきている空き家の有効活用もあわせて検討することが重要である。

### その他

◎店舗の駐車場にEVスタンドを設置

◎仕事帰りに一杯立ち寄れる店が欲しい

◎北部地域の災害拠点になれば良い

◎駐輪場を大きくして欲しい

◎店同士を回遊できるような配置にして欲しい



## 事業者+法人地権者グループ

### くらしを支える便利なまちにしたい

#### ◎暮らしを支える店づくり

- ・ワンストップショッピングによる買い物のしやすさ
- ・長時間営業による利便性の提供
- ・生活必需品の提供
- ・リーズナブルなプライスで提供
- ・肩肘張らずに気軽に入れるお店に

### だれもが住み続けられるまちにしたい

#### ◎住みたい!と思える街に

- ・永住志向に応えるまちに
- ・コミュニティがあり、活気のあるまちに
- ・子育て世代が住みやすいまちにして、住みつづけられるように

### 安心・安全に暮らせるまちにしたい

#### ◎安心安全のまちづくり

- ・老後も安心して暮らせるまちに
- ・アップダウンの少ないバリアフリーを意識した店づくり
- ・夜も安心して暮らせる明るいまちに
- ・防犯意識が高い、治安がよいまちに

### 交通対策等

- ・地域の交通弱者の足を確保することが大切
- ・地域バランスを考えたバス路線の検討が必要
- ・公共交通機関の運営のためには、行政の協力は不可欠
- ・店舗等の駐車場規模や駐車場動線に配慮する

### まちのブランド力・魅力を向上させたい

#### ◎まちのブランド力向上

- ・北生駒のブランド力を向上して、知名度をアップする
- ・北生駒に企業を誘致して新たなサービスを提供する
- ・ブランド力が向上すれば、人が集まってくる



#### ◎まちの魅力づくり

- ・駅前のにぎわいづくりが大切
- ・花のあるまちがよい
- ・美しい街並みをつくることで、まちの価値があがる

### 女性にうけるまち・女性が住みやすいまちにしたい

#### ◎女性の目線でのまちづくり

- ・一般的に女性はまちにいる時間が長い。女性の目線でまちを考えるのも重要
- ・教育環境が充実しているまちは、まちを選ぶ際のひとつの目安
- ・子育て+健康づくりがしやすいまちに

### 環境配慮等

- ・バス回送の本数や走行距離を減らして、環境負荷を低減させる
- ・屋上緑化等を取り入れた施設づくり
- ・周辺に対する騒音に配慮した施設づくり
- ・地域の特徴を活かした低炭素なまちづくりを目指したい